

就労支援部会

部会長 高橋

第一回 令和4年7月28日

- (1) 新規事業所紹介
- (2) 市就労支援員の実績報告
- (3) 各委員の所属機関での障がい者就労に関する近況、課題等を報告
- (4) 情報共有、課題の整理

第二回 令和4年11月24日

- (1) 各委員の所属機関での障がい者就労に関する近況、課題等を報告
- (2) 白井市出張相談会について
- (3) 情報共有・課題の整理

その他 令和5年2月3日 出張相談会 in 白井

令和4年度 要旨

【新規事業所紹介】

該当事業所から新規事業所の紹介を行った。ユナイト(就労継続支援A型)

【各委員の所属機関での障がい者就労に関する情報共有、課題の整理】

○就労の定着について

定着が難しいということが、就労支援員や委員からの報告であった。一方、特別支援学校の卒業生は長く続いていることが多い。長い期間の実習をすると定着しやすいが、雇用企業として、長い実習で人員を割いて教えることが大変だったり、本人としても交通費の自己負担があったりして長期間の実習を行うことが難しい。

○地域等の課題

- ・ 市や、障害者就業・生活支援センター明朗塾(以下、明朗塾)、特別支援学校で受けている就労希望相談者のうち、就職までなかなか至らない人がおり、条件が高めの人、現実とのギャップがある人が多く、支援に難しさがある。
- ・ 工業団地方面への公共交通の充実に関しては、以前提言を出したが、障がい者が就職するには交通に未だ不便がある。提言書にて、現状を訴えてほしい。→部会長等で検討し、全体会へ提案していく。
- ・ 近隣市で行われた企業説明会は熱気があるように感じた。白井から参加した人から地元での開催はないのか、という話が出ていた。→来年度以降の開催を検討
- ・ 最近、アルバイトをしている人が、日中活動系(就労移行支援等)のサービスを利用したいという相談がある。→国で取扱いが検討をされているよう。動向を伺いつつ必要であれば市で整理をする。

(まとめ)

- ・工業団地方面の公共交通の充実について提言することを、全体会に対し提案する。
→【別紙資料 1-3 補足】参照
- ・就職応援フェアの開催については、次年度以降検討する。
- ・その他については課題整理には至らなかったが、有益な情報共有ができ、委員同士の顔の見える関係が作られた。

【出張相談等について】

- ・昨年度、福祉的就労について知られていない、新規就職希望者の相談にさらに応じる必要がある、との課題から、初の就労相談を実施した。
- ・今年度も継続して開催したほうが良いとの意見あり。
- ・明朗塾と、就労部会の相談支援専門員に協力いただき開催することとする。

→2月3日(金)に出張相談会 in 白井を実施

対応:明朗塾(平川氏、谷氏)、就労支援部会(森田委員、鈴木委員、大網委員、村田委員、高橋部会長)事務局(高橋)

参加者:午前6名、午後6名

①年間を通してのまとめ

- ・各委員の所属機関や事業所での障がい者就労に関する近況等を報告し、様々な角度から現状や課題などが挙げられた。新規事業所の紹介があり、横のつながりができつつあった。
- ・就職しても定着が難しいということがあった。長い実習をすることで定着はしやすいが、企業側は、人員を割いて教えることが大変だったり、本人の交通費が負担になったりすることもあり、企業側と本人の課題が挙げられた。
- ・出張相談については、昨年度6名の相談者、今年度12名の相談者があり、希望者が2倍となった。就職や就労移行、福祉的就労の相談が主な内容であり、まだまだ希望者がいると考えられ、今後も継続していけると良い。

②課題

- ・就職、福祉的就労において、各関係機関の横のつながりを強化し、ネットワークづくりができると良い。とくに福祉的就労においては、就労、生活を含め相談支援事業所と各事業所との連携を強化していけると良い。
- ・今後、福祉的就労において、定員がいっぱいになることが予想されるため、各事業所の受け入れが可能かどうか等、検討していく必要がある。
- ・工業団地方面への公共交通の充実。提言書の継続。